

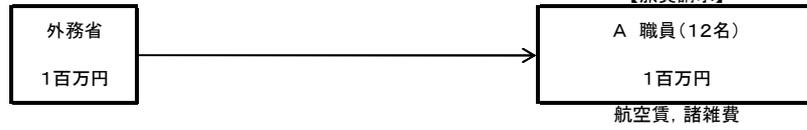
平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	在外公館知的財産権侵害対策経費		担当部局庁	経済局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度			担当課室	国際貿易課		課長 齋田 伸一	
会計区分	一般会計		施策名	国際経済等に関する取組に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省設置法第4条第2項 外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2005年3月より全在外公館において、知的財産担当官が指名されているところ、各担当官の知的財産問題への対応能力の向上を図るべく、知的財産担当官が一堂に会する会議を開催し、在外公館の各担当官同士の認識の共有を促進するとともに、知的財産の専門的な知識を有する外務省本省担当者やジェトロ、民間企業担当者をも交えた意見交換を実施するための旅費等。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	知的財産担当官の個別具体的な問題への対応能力向上のためには、問題発生地域内における担当官同士で問題意識や成功例の共有等のための意見交換を図ることが有効である。このため、地域別に担当官会議を開催することにより、在外公館の各担当官同士の認識の共有を促進するとともに、知的財産の専門的な知識を有する外務省担当者も交えた意見交換により各担当官の知的財産問題への対応能力の向上を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	1	1	2	1	2
	執行額	1	1	1	-	-	
	執行率(%)	104%	95%	79%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	知的財産担当官会議の開催により各担当官の知的財産問題への対応能力を向上すること		成果実績 公館数 (人数)	16 (19)	16 (16)	13 (13)	14 (14)
	参加した在外公館の数(人数)		達成度	%	100	100	100
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	知的財産担当官会議出席のための旅費		活動実績 (当初見込み)	回	2	2	1 (1)
単位当たりコスト	(100, 137円/人)		算出根拠	1, 201, 646円÷12名=100, 137円			
平成23年度 (単位:千円) 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	旅費	1,467	1,535				
	計	1,467	1,535				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>知的財産担当官会議に出席する在外公館の知的財産担当官の旅費として支払われるもの。本省からの会議開催案内を受け、該当する在外公館から見積書を元にりん請がなされる。会議には本省からも出張者があり、在外公館からの出席を確認している。会議開催後、精算している。引き続き適切な予算執行に努める必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A 職員(12名)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	航空賃, 日当・宿泊費, 諸雑費	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	知的財産担当官会議出席旅費	0.3	—	—
2	職員B	知的財産担当官会議出席旅費	0.2	—	—
3	職員C	知的財産担当官会議出席旅費	0.1	—	—
4	職員D	知的財産担当官会議出席旅費	0.1	—	—
5	職員E	知的財産担当官会議出席旅費	0.1	—	—
6	職員F	知的財産担当官会議出席旅費	0.1	—	—
7	職員G	知的財産担当官会議出席旅費	0.1	—	—
8	職員H	知的財産担当官会議出席旅費	0.1	—	—
9	職員I	知的財産担当官会議出席旅費	0.1	—	—
10	職員J	知的財産担当官会議出席旅費	0.1	—	—